

2024年 5月

からし種

カトリック片瀬教会



## 温かい、愛のある教会共同体に向かって

ブランチフィールド神父

3月31日、青空に恵まれて、私たちは主の復活の祝いを迎えました。聖堂は満席で、玄関にも人が立っていました。いよいよコロナの怖れから解放されて、数年ぶりにたくさんの方は出かけて来ました。私にとって、片瀬教会での3回目の復活祭でしたが、未だに会っていない大勢の方がいらっしゃいました。若い方も大勢でしたが、杖をつきながらご年配の方も目立ちました。復活祭だから努力して来られた。そしてもちろん、名簿上に載っていても来られていない人もいたでしょう。

以上、聖堂に集まったみなさんの様子を見て考えました。どうやってこのみなさんの様々な必要に応えて、この共同体が世話することができるでしょうか。

共同体の9つのコミュニティが活発に動いてほしい。各コミュニティの名簿をよく生かして、病人や出られない人が判るように。教会から御聖体を持っていただきたい人がいるなら、知らせてくだされば、月1回でも持っていけるかも知れない。

最後に、病気でもなく、老衰でもなく、ただ教会に用が無いという方がたまにいます。そういう人に申し上げたい。「今はあなたのために時ではないかも知れないが、万が一に変わりましたら、教会の門はいつも開いています。神様との縁を切らないで、神様に徹底的に愛されている。神様は縁を切らない。」

兄弟姉妹である私たち・・・お互いのために祈りましょう。

## 2024年5月度教会委員会報告

開催日時：2024年4月21日(日)午前11時30分～13時10分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、

会計監査、典礼、福祉、総務、宣教司牧、中高大青会、

シャルル聖パカ修道女会片瀬修道院

### □ブランチ神父のお話

復活祭ミサに聖堂が一杯になるほど人が来ていました。明らかにいつもは来られない人が来ていました。コミュニティでこれらの人に声をかけたり、教会に来るのを手伝ったりして下さい。温かい共同体になるように。すぐにはできないでしょうが精一杯務める様にお願いします。

### □全体の報告および連絡事項

#### 1. 10時ミサ後のカフェお茶準備と教会行事のコミュニティ当番制

##### 1) 4月7日にコミュニティの代表者で話し合い

- ・コミュニティ毎のカフェと行事パーティ準備の当番制に賛同する。
- ・コミュニティを3つのグループにまとめ、カフェ当番の日を固定することを決めた。

##### 2) カフェ準備の当番は

第1主日…グループA(片瀬海岸、鵜沼A、鵜沼B)

第2主日…グループB(片瀬・片瀬山・目白山、藤沢北部、辻堂・茅ヶ崎・平塚)

第3主日…カフェつみびと

第4主日…グループC(腰越A、腰越B、鎌倉北東部) 第5主日…無し

##### 3) カフェについてのルールを提示する

##### 4) カフェの開始は6月第1主日からとする。

理由は5月に12日堅信式、19日カフェつみびと、26日避難訓練予定のため

##### 5) 8時ミサ後のカフェについては、準備出来る人がいればやることにする。

##### 6) 主な行事パーティの準備

##### ①カフェと同じグループA～Cの当番。

最初は、5月12日堅信のお祝いをグループA。

②毎回の予算は、原則5万円とする。

③行事パーティがある場合は、こちらを優先しカフェはお休みとする。

## 2. 5月12日 「主の昇天」の主日 堅信式

### 1) 10時ミサ 梅村司教司式 受堅者4名

教区へ「ミサに助祭または司教補佐の方が来るか」事前に確認する。(委員長)

### 2) ミサ後のスケジュール

①司教様と受堅者は聖堂前で記念写真(写真係：藤江)

②信徒会館1Fで堅信のお祝いパーティ(参加者：司教様、全信者、準備：グループA)

③その後信徒会館2Fで司教様 銀祝のお祝い(参加者：司教様、司祭、教会委員)

## □各部会からの報告

### 総務部

1) 外部者への信徒会館貸出(使用)方法を整理し、次回委員会に提案する。

2) 新しい駐車券を作成したので、古くなって交換したい人は申し出てほしい。

### 宣教司牧部

1) 6月29日教会見学(美しい教会を巡る会?)あり。さらに好評で8月17日(土)にも予定。

2) 親松さんの「マリア観音」作成記録DVDが送られてきたので、5～6月にプロジェクタを使って上映会を計画する。

### 福祉部

小さき花の園ボランティアの状況として、5名の方が参加。5月より活動を始める。

### 教会学校

5月19日の第5地区+雪ノ下教会学校運動会のミサは、片瀬教会のミサに与ることはなくなった。

## **中高大青会**

堅信に向けての勉強会を継続している。福祉団体応援マーケットに参加予定。

## **一粒会**

第5地区での梅村司教様への霊的花束、お祝いメッセージがまとまった。席上、お祝いメッセージを回覧した。

## **営繕**

現在の工事予定は、

- 1) 火災、ガス感知器設置(東京ガス) 5月18日工事
- 2) 門扉鍵交換(大建工業) 5月中旬
- 3) 外流し詰まり改善(関根工業) 5月中
- 4) 司祭館外壁工事の予定を見直す。

※委員会後、外部トイレの鍵 修理完了した。

## **防火管理者**

避難訓練を5月26日に予定する。今回は津波想定 of 避難訓練とする。休日における白百合学園の避難場所対応状況を確認する。片瀬海岸2丁目自治会との協定等を確認する。

## **その他**

福祉団体応援マーケットサポートチームを立ち上げ、6月9日に福祉団体応援マーケットを開催する。出席希望者は4月末迄に申し込むこと。会場作り等の協力者を別途募集する。(相澤)

## **検討・決定事項**

1. 教会にいられていない人の調査を実施した。

ボックスに昨年のバザーアンケートが残っているかを調べた結果、80人リストアップされた。委員にリストを配布した。各コミュニティで情報交換し対応を検討すると共に他のコミュニティの方でも情報を持っている人はそのコミュニティに連絡してほしい。

2. 教区共同宣教司牧 交流会・養成研修会(別紙資料)

- ・片瀬教会では典礼奉仕者養成コースとカトリック入門講座担当者養成コースの受講者が必要。受講者を募集する。

□ 5月の予定

別表にて確認した。

次回委員会開催 5月19日

## コミュニティの活動を活発にしましょう —ミサ後のカフェ再開と主行事パーティ準備—

教会委員長 池尾昇治

4月度の教会委員会報告にありますように、委員会では

- 1) コロナで長らく中断していたミサ後のカフェの再開を希望する声が多いが、準備から後片付けまでをコミュニティ毎の当番制にしたらいいのではないか。
- 2) 復活祭やクリスマスのパーティ準備は、以前はマドンナ会が主体でしていたが現在はマドンナ会がないためそのたびごとに有志を募らなくてはならない。これもコミュニティ毎で順番に行ったらいいのではないか。

という案がでてきました。そこで4月7日にコミュニティ代表の方々と相談会を行ったところ、委員会の提案に賛同して頂き、また話し合いで下記の事項が決まりました。

まずミサ後のカフェについては

1. 10時のミサ後にカフェを開くが当番を次のようにする。
  - ・第1主日…グループA(片瀬海岸、鵜沼A、鵜沼B)
  - ・第2主日…グループB(片瀬・片瀬山・目白山、藤沢北部、辻堂・茅ヶ崎・平塚)
  - ・第3主日…「カフェ つみびと」
  - ・第4主日…グループC(腰越A、腰越B、鎌倉北東部)
  - ・第5主日…無し

2. カフェの準備は、飲み物のみとし、補充が必要になったら補充しておく。
3. 「お茶の心得」として
  - ・ 飲み終わったカップは各自が洗って戻す
  - ・ 各自が出したごみは各自が持ち帰る
  - ・ 遅くとも 12 時迄には終了する

4. 開始は 5 月に堅信式や避難訓練を予定していますので、6 月から始めます。

(話し合いでは、5 月から始めることになっていましたが、その後予定が入ってほとんど開けなくなったので 1 ヶ月ずらしました)

5. 8 時のミサ後のカフェについては準備をやって頂く方がいらっしゃいましたら行いたいと思っています。

次に主な行事のパーティの準備については、コミュニティのグループ分けをカフェ当番と同じにします。最初は、グループ A の方々に 5 月 12 日堅信式をお願いすることになりました。

これらのことは、準備することが最終目的ではなく、コミュニティの活動を通じて信徒の交わりを深める、特に近隣の方々と親しくなることが狙いです。この主旨をご理解頂き、少数の人に任せるのではなく、コミュニティ全体の活動として積極的に参加をお願いします。

## 5 月 26 日に津波想定 of 避難訓練を予定

防火管理者 池尾昇治

最近、各地で大きな地震が頻発しています。片瀬教会では特に津波からの避難が重要です。以下の点をポイントに避難方法を考えました。

1. 教会に一番近い津波注意は、白百合小学校校庭前の電柱にあり、「想定津波高さ地面から 4.3m」とある。(今年 3 月に設置された標識)
2. 藤沢市の津波ハザードマップでは相模トラフでの地震の起き方によっては 6 分で津波が到達する想定となっている。
3. 信徒は高齢者が多く、脚が不自由な方も多いので早く遠くへ避難することができない。
4. 隣に白百合学園の建物があるが、入口まで距離があり近隣住民も避難してくるので入口が混雑してすぐに建物に入れない可能性がある。

このようなポイントから、垂直避難に重点をおき、信徒会館2階に避難することが一番良い方法だと考えました。

ミサ中に地震が発生したと想定し、聖堂から信徒会館2Fまで全員が避難するにはどのくらい時間がかかるか、また全員を収容できるか等を検証しながら訓練を実施したいと思います。信徒会館の階段は狭く、また体の不自由な方への対応等実際にやってみないと分からないことが多いのでご協力よろしくお願ひします。訓練詳細は追って説明させていただきます。

## 受洗者からのメッセージ

### 「小さな野花」

マリア・テレーズ K.K.

「疲れた者、重荷を背負った者は私の所に来なさい。休ませてあげよう。」このことばを見た時に心が楽になりました。何ともお優しいことばです。



これまでの人生を振り返ると、「楽しかったこと」「嬉しかったこと」「悲しかったこと」「辛かったこと」等々いろいろありました。その経験の全てが神様のお導きに思えます。悲しかった事は「悲しい経験をした人の気持を分かってあげなさい」というメッセージかもしれません。

友人のIさんに案内してもらって初めて教会の聖堂に入った時に「何か知れぬ温かいもの」を感じました。その時から導かれていた気がいたします。

ミサで祝福を授けていただいた時やブランチ神父様のお話、また聖書のことばに感動した事もたびたびあります。

キリスト教にはまるで無知な私にわかりやすく教えて下さったブランチ神父様やIさん、講座のお仲間(すみません。勝手にお仲間と呼ばせていただきます)にたくさん支えていただきました。感謝いたします。

教会の皆さま、これから未熟な私を兄弟姉妹としてよろしくお願ひいたします。

神様のお恵みに感謝して「小さな野花」としてこれからの日々を穏やかに生きていけたらいいなあと考えています。

## 「洗礼を頂いて」

ヨハネ Y.S.

古来より現在においても世界中で宗教間による紛争や戦争が絶えない中、私にとって宗教は長い間興味の対象であり信仰の対象ではありませんでした。いろいろな宗教に関する本を読み客観的に理論としての宗教を理解しようとしてきました。



しかし、一昨年妻が受洗し教会のコミュニティで生き生きと活動する姿を見て、私も遅まきながら信仰の重要性を感じるようになりました。

仕事や趣味に没頭し妻に対して十分な支えを提供できなかったことに対する自責の念とその罪滅ぼしもあり妻に誘われるまま教会に足を運び神父様の勉強会に参加することになりました。

しかし神父様との対話の中で神父様の純粋な信仰に触れると同時に、聖書勉強会を通じて人間の傲慢さとそれでも神様が人類を私たち一人一人を愛しておられることを理解することができました。また理論を飛び越えた信仰の重要性、必要性を感じ洗礼を受けさせて頂くに至りました。

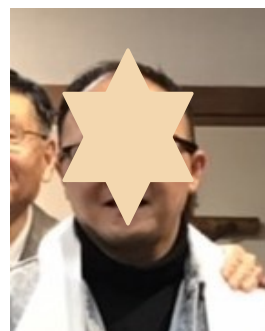
復活祭の喜びと光の儀式の中、片瀬教会の皆様方に見守られて受洗出来ましたことを今は深く感謝いたしております。

最後に、これまでに多くの導きと励ましを与えてくださったブランチ神父様、代父の M.F. 氏や教会の皆様方に心から感謝を申し上げます。

## 「受洗への道」

トマス R.N.

こんにちは、中川力樹と申します。3月30日に洗礼を受けました。洗礼を受ける理由は、みなさん様々ではありますが、私の洗礼を受けるまでの経緯、経験をお話させていただきます。



まず私は、洗礼というものが何か全く知りませんでした。そしてそんな私が何故、洗礼を受けたかというと、恋人がフィリピンの女性でカトリックの信徒でした。そしてフィリピンの教会で結婚式を挙げたいと言われました。その際に私が日本のカ



トリックの教会で洗礼を受けていないといけないので、恋人に洗礼を受けてくださいと言われました。

その時、私が初めて教会に出向き、ブランチ神父様と言葉を交わしました。それから私は洗礼というものはただ儀式をやればよいのではなくてキリストの教え、学び、そして神様を信じていること。神様に対して信頼していることなどブランチ神父様からミサが終わった後、1時間ぐらい聖書を読み、キリストの教えを学ばせてもらいました。本来であればまだ、私が洗礼を受けるには早いとブランチ神父様はおっしゃいましたが、結婚式の日が決まっていたので、ミサの終わった後の講義ではポイントを選んでシンプルに教えてくださいました。

私が洗礼を受けるにあたりお世話になった皆様方、本当にありがとうございます。

夏頃、手続きを終えて西鎌倉で一緒に住みますので、夫婦で教会に行った際は、どうぞ仲良くしてください。どうぞよろしく願いいたします。

## 「受洗して」

マリア ベルナデッタ N.H.

私は、仏教の家に育ちました。父は、朝夕の読経を欠かさない・又お彼岸や月命日や盆暮れ・墓参り・ご先祖まつりなどは、年の若い子供達の仕事とされて育ちました。

長じて結婚し3人の子供を持ちましたが、今はそれぞれ職業と住まい、配偶者をいただき関東に住まっております。夫は4年前に亡くなりました。私は結婚以来、キリスト教精神にのっとりた婦人雑誌の愛読者の会に入会し50余年在会。この間に多くのクリスチャンの友と楽しく過ごし、キリスト中心主義の「生活の中にキリストを置く暮らし」を沢山見聞きして来ました。

一年程前、片瀬教会で行っているまりあ食堂のお弁当作りにお誘いいただき、又、教会で行っている聖書入門講座に入れていただきました。そんなふれあいの中で、何の疑問も不安もなく自然に、私もいつか洗礼を受けたいという願いがふくらみ復活徹夜祭の日に受洗させて頂くことが出来ました。感謝です。

ミサの中で信者の方々、御子様方がミサをささえていらっしゃる様子は素晴らしい、心温まる光景!!この伝統ある片瀬教会は宝・あたたかい思いに浸ります。皆様のお仲間にならざるに居させていただけますように・神父様、皆様、どうぞよろしく願い申し上げます。



## 笑顔の復活祭パーティー

今年も昨年と同じ卵の殻のペイントが行われ、子ども達の想像力で淡い色のもの、濃い色のもの、自然な優しい色のもの、羊の絵、お花の絵で、卵が彩られました。生き生きとした命の象徴である卵飾りが、今年も満開の桜の枝に飾られみんな笑顔になりました。

信徒会館の壁は、今年は水仙を色紙で平面なもの、また立体的なものを作りました。水仙の花はちょうど、イースターの頃ヨーロッパに咲きみだれ、「イースターベル」と呼ばれているとクリスティーナさんが教えて下さいました。ヒヤシンスのお花も紙で作ってみました。黄色との色合いがとても綺麗で、信徒会館がお花畑の様に・・・。

そして、徹夜祭の日は茹で卵を信徒会館でゆでて、ご復活祭の後の、エッグハンティング用の模様のついた卵を籠いっぱいに作りました。それを当日、中高生のみなさんと大人で、マリア像の周りの花壇に隠しました。とても可愛い景色でした！

当日は大勢の方がごミサに出席しご復活をお祝いしました。コロナ禍後の久々の盛大なパーティーには、徹夜祭で作っておいたひつじさんのケーキも登場して、大人も子どももみんな笑顔になりました。

四旬節に沢山祈り、祈りながら準備した全てのものに生き生きとした命が与えられ、それを通して私達は平和を感じる事が出来ました。ご復活の日の為の準備はどれも温かい空気が漂っていました。平和の尊さを教えてくれた恵み深い日々感謝し、それが実を結んだご復活祭は喜び溢れるものとなりました。神に感謝。  
(教会学校 M.さんより)



## 聖堂南側の十字架について

川崎真理子

数年前に「十字架が強風で落下したので、修理してください」との要望が教会委員の方から出されました。板金屋が修理する見積もりをお出ししたのですが、薄いステンレスの継ぎ目が汚く、継ぎ目を美しく仕上げるにはどうしたらよいか同級生の彫刻家井上なぎささんに相談したところ、ご主人の鍛金彫刻家安藤泉さんと一緒に川崎建設に来てくださり、修理代金で新品の質の良い十字架と台座を作ってくださいる事になりました。十字架の台座に入れる材料も、川崎建設の倉庫に在庫してあった備長桧がありましたので寄付させていただきました。備長桧を川崎建設の大工が加工して十字架の台座の銅板の下にはめ込み、ボルトで締め付けました。

落ちた十字架は板金職人が加工しやすい0.8<sup>ミリ</sup>の薄いステンレスできていました。安藤泉さんは薄いので強風の衝撃に弱かったと考え、2倍の厚さの2<sup>ミリ</sup>のステンレスを素材に選びました。継ぎ目も普通の半田付けでは柔らかく、年月と共に劣化してしまいます。野外彫刻を沢山して製作してきた経験から酸性雨にも負けないようにTIG電気溶接で製作。厚みが増す分十字架の重量は重くなりますが、耐久性が向上するようにしっかりと作ったと伺っています。

台座の銅板も以前のものは厚み0.6<sup>ミリ</sup>程度でしたが、厚み1.2<sup>ミリ</sup>の銅板を選んで製作しています。銅板は緑青の仕上げにしましたが、皇居新宮殿建設の際、銅板葺き屋根に緑青を定着させるため大学で開発されたもので、数種類の薬品を調合した緑青液を施して緑青を吹かせ、早めに緑青を定着させ、数種類の薬品で処理をして緑青を吹かせ、早めに緑青を安定させ(緑青は細かい結晶なので純銅よりも強いそうです。)フッ素樹脂の被膜でコーティングしています。十字架のエンドも手間が掛かっており、十字架の裏面に木材が渡してあり、そこから5本のビスで台座と下地の備長桧に緊結されています。

教会の裏木戸から出て見上げる時、なんて美しい十字架なのだろうと、見る度に感激しています。野外彫刻で受賞され、海外にも作品を残されている安藤泉さんの作品だからなのですね。どうか皆様も裏木戸から出てじっくりとご覧ください。片瀬カトリック教会の財産です。小学校から見ると、井上なぎささんの作ったレリーフが小学校のお庭にあり、ご主人の作った教会の十字架と同時に眺められます。



## 一粒会だより

♪主の食卓をかこーみ いのちのパンをいただき  
すくいのおさかずきをのみ 主にあつてわれらはひとつ♪

私たち、主にある兄弟姉妹は、司祭のもと、教会に集まり、主の食卓を囲み、主の十字架をたたえ 御国を待ち望んでいます。

司祭は靈魂に必要な助けをもたらし、私たちを神の国へ導くという、尊い使命を神様から託されています。

そして、その使命を全うするために、ご自分の全てを神様に捧げておられます。けれど今、教会にとって大切な司祭の数が減り、神学生の数も大変少なくなって来ています。

どうぞ主よ、神様の召命に応じて、将来司祭を志す神学生が一人でも多く生まれますように…。

私たち一人ひとりが、神学生、司祭の事を覚えて祈ることができますように…。そして、私たちの祈りの輪がもっと広がって行きますようにとお祈り致します。

### 一粒会の目的は・・・

司祭の召し出しと成聖のために、祈りと犠牲をささげ、神学生養成のために経済援助をすることを目的としています。この目的の中には、教会の中に隠されている貴重な宝、若者に召し出しを考える機会をもたらすことが含まれています。わたしたち信徒が「神の救いのわざ」にあずかるために、司祭の導きは欠かせないものです。

### 一粒会への入会のお願い

聖堂の入り口の棚に、『一粒会会員申し込み書』が置いてあります。ご記入の上、申し込み箱にお入れ下さるか、献金箱にお入れ下さっても結構です。

一粒会委員 飯塚京子

## 梅村司教の紋章

5月12日に堅信式のため、梅村司教が片瀬教会を訪問されます。その3日後の15日は、司教着座25周年の銀祝です。司教は一人一人紋章を持っていますが、梅村司教の紋章がこれです。



標語「COMMUNIO COMMUNIONUM」(交わりのなかの交わり)。ヘブライ語でアッパ(父)の文字が入るミトラ(司教帽)で表された御父のいつくしみに見守られ、キリストの十字架をマストとする船で表された教会は、鳩で表された聖霊の息吹を受け、世の海原を旅する神の民として三位の神との一致を目指して巡礼の旅を続ける。縦木よりも長めに描かれた横木のマストは、十字架で大きく手を広げ、すべての人を御父へと導かれたキリストの姿を表す。教会は麦とぶどうで表された聖体に養われ、交わりと一致のしるしと道具としてキリストの救いの使命を果たす。紋章右下は横浜教区4県と富士山。下部の麦とぶどうはパンとぶどう酒(ご聖体)。

(以上、横浜司教区ホームページより)

梅村司教は叙階された時から「交わりのなかの交わり」「一致のなかの一致」を大切にされてきました。横浜教区で共同宣教司牧活動が盛んなのはこのためです。横浜教区4県に描かれている富士山は教区の象徴でしょうが、聖心会裾野マリア修道院(黙想の家)をも象徴しているそうです。毎年教区懇談会が行われ、司教、司祭、修道者、信徒の交わりがあります。

## 「祈りの人」

相澤雅人

今から 11 年前のことだ。ある日の部会で、「からし種」のオーディオ版を作りたいと提案した。しかし、神父様をはじめ様に反応は鈍く、理解も得られず、否定的な意見さえ出していた。まるでプレゼンを滑った時のような気まずい雰囲気の中で、「いいんじゃないですか、賛成」と手を上げてくれたのが、あなただった。こうして CD「耳で聴くからし種」がスタートしたのだが、あなたは欠かせぬナレーター（語り手）のひとりとなった。名は体を表す。声は人を表す。というが、かねてから定評のある、感情に流されぬ抑制した落ち着きのあるその声が、毅然とした説得力のあるその声が聴く者をとらえ、単なる音声ガイドではなく、良質な「聴き物」をめざそうとの思いを支えてくれた。

そうそうこんなことがあったね。この CD の制作が始まってから 1 年経った時、神父様が言われた。「よく出来ていますが、これはからし種ではないですね。別物ですね。からし種というタイトルは使えません」。「からし種」をそのまま読む音声ガイドだと思われていたのだろう。教会報に書かれていない内容が盛り込まれた構成に戸惑われたのかも知れない。周知されはじめていたその矢先に否定され、頭に血がのぼった。口論になった。やっつけられない！と熱くなってその場を飛び出しそうになった。平行線のまま部会を終え、受け入れ難い状況に落胆していた。もうやめようと思った。その時、あなたは静かに言った。「祈るのよ」・・祈ることを知らない若僧（と言ってもとっくに還暦を過ぎていたのだが）にとってズシンときた一言だった。その甲斐があったか、「耳で聴くからし種」は、いまだ続いて 11 年目を迎えた。そう、いつだってあなたは味方でいてくれた。時には背中を押して励ましてくれ、時には背中を掴んで引き留めてくれた。行き詰まった時、投げやりになった時、あなたは決まって、「相澤さん、祈ることよ」と言って、寄り添ってくれたのだ。

今年のクリスマスに、「耳で聴くからし種」をいつも聞いてくれていた 90 歳の方が亡くなられた。毎月手紙のやり取りをしていたのだが、その方が最後に残してくれた言葉が忘れられない。シラ書の一節だった。いまこの言葉をわたしはあなたに贈りたい。「誠実な友は、何ものにも代え難く、そのすばらしい値打ちは計り難い」。ひと足先に行ってしまった、マリア・グラチア菊池弘子さん、本当にありがとうございます。どうか天国で私たちを見守っててください。いずれそのうちにお会いしましょう。

## 2024年5月

### ☆教皇の意向：修道士・修道女と神学生の養成

修道士・修道女と神学生がそれぞれの召命の道を歩む中で、人間性、司牧性、霊性、共同体性についての養成を受けて成長し、信頼される福音の証人へと導かれますように

### ☆日本の教会の意向：子どもの成長

将来を担う子どもたちが、神に愛された者として健やかに成長していきますように。  
(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

### ☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
5/1 水			聖書と典礼を読む会 10:00
2 木	聖アタナシオ司教教会博士 記		まりあ食堂
3 金	初金 聖フィリポ聖ヤコブ使徒 記	9:30	キリスト教入門講座は休講
4 土			
5 日	復活節第6主日	8:00 10:00	10時ミサでKさんの洗礼志願式
6 月			
7 火			
8 水			聖書と典礼を読む会 10:00
9 木			
10 金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
11 土			
12 日	主の昇天(復活節第7主日)	8:00 10:00	梅村司教司式による堅信式10:00 ミサ後お祝いパーティ
13 月			
14 火	聖マチア使徒 祝		
15 水			聖書と典礼を読む会 10:00
16 木			
17 金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
18 土			
19 日	聖霊降臨の主日	8:00 10:00	10時ミサでKさんの洗礼式 教会委員会 福祉バザー 第5地区教会学校運動会
20 月	教会の母聖マリア 記(年間第7週)		
21 火			
22 水			聖書と典礼を読む会 10:00
23 木			
24 金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
25 土			
26 日	三位一体の主日(年間第8週)	8:00 10:00	ミサ後、津波避難訓練
27 月			
28 火			
29 水			聖書と典礼を読む会 10:00
30 木			
31 金	聖母の訪問 祝	9:30	ミサ後、キリスト教入門講座

◆お知らせ◆

○7月9日（火）19時より、当教会にて「テゼの祈り」が開催されます。久々の片瀬教会での開催です。聖書の短い言葉をシンプルなメロディーで繰り返し歌い、そして黙想する…いつもとは異なるスタイルで、世界の連帯と平和を祈りませんか。



聖木曜日(洗足式)



復活徹夜祭(受洗式)



聖金曜日(十字架の崇敬)



復活の主日(教会学校ハンドベル演奏)

2024年5月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>